

1. 科目名 (単位数)	公的扶助特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5314
2. 授業担当教員	【池袋】佐々木 隆志 【名古屋】伊東 真理子			
4. 授業形態	ゼミ方式で行う		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「社会保障特論」を関連して履修することが望ましい。			
7. 講義概要	公的扶助制度の確立とその後の展開、生活保護制度の基本原則を踏まえながら、生活保護制度をめぐる近年の動向、生活保護行政の課題、低所得者対策等について幅広い観点から検討する。さらに、生活保護制度を中心とした今後の低所得者政策について分析・考察する。			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の公的扶助制度である、生活保護制度について理解し、問題点を把握すること。 ・近年の政策動向を踏まえ、生活保護制度の今後の課題について議論するための知識を得ること。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での報告を基に授業を進めるので、その準備が求められる。 ・加えて授業を踏まえたレポートを提出してもらい、授業内でそれを基に議論を行いたい。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特に定めない。通学課程では、受講者に応じて下記の参考書を含め、検討する文献を決定する。</p> <p>【参考書】 金子充 (2017) 『入門貧困論 ―ささえあう/たすけあう社会をつくるために』 明石書店 埋橋孝文編 (2013) 『福祉+α 生活保護』 ミネルヴァ書房 稲葉剛 (2020) 『閉ざされた扉をこじ開ける 排除と貧困に抗うソーシャルアクション』 朝日選書 岩田正美・西沢晃彦 (2005) 『貧困と社会的排除』 ミネルヴァ書房 岡部卓編 (2018) 『生活困窮者自立支援: 支援の考え方・制度解説・支援方法』 中央法規 岩田正美 (2021) 『生活保護解体論 ―セーフティネットを編みなおす』 岩波書店 宮本太郎 (2021) 『貧困・介護・育児の政治 ベーシックアセットの福祉国家へ』 朝日選書 五石敬路ら編著 (2021) 『日中韓の貧困政策』 明石書店 道中隆 (2016) 『第2版 貧困の世代間継承-社会的不利益の連鎖を断つ』 晃洋書房 『生活保護手帳』 最新版</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 8. 学習目標の達成度をもとに評価を行う。</p> <p>○評定の方法 授業内での報告 50%、レポート 50%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	大学院では自ら問題を設定し、それについて考える姿勢が求められる。公的扶助についても問題関心を持ったうえで、受講してもらいたい。			
13. オフィスアワー	授業内で通知することになる。			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テーマ	「貧困」とは何か。			
【学習の目標】	貧困についての様々な考え方を理解すること。			
【学習の内容】	貧困とは何かを、多様な定義から学習する。			
【キーワード】	「マーケットバスケット」「相対的貧困」「社会的排除」			
2. テーマ	公的扶助とは何か。			
【学習の目標】	公的扶助の目的、成り立ちについて理解すること。			
【学習の内容】	社会保障の中での位置づけ、救貧法からの歴史について学習する。			
【キーワード】	「救貧」「救貧法」「生存権」			
3. テーマ	生活保護制度①歴史			
【学習の目標】	公的扶助制度がどのように変化してきたかを理解すること。			
【学習の内容】	日本の公的扶助制度がどのような変遷をたどってきたかを学習する。			
【キーワード】	「救護法」「旧生活保護法」「生活保護法」			
4. テーマ	生活保護制度②制度			
【学習の目標】	生活保護制度の現状と、問題点を理解すること。			
【学習の内容】	生活保護制度がどのような目的を持ち、どのような給付を行っているかを学習する。			
【キーワード】	「最低生活の保障」「自立の助長」「補足性の原理」			
5. テーマ	生活保護制度③動向			
【学習の目標】	生活保護受給者 (世帯) 数はどのような要因で変化するかを理解すること。			
【学習の内容】	生活保護受給者 (世帯) 数の変遷をたどり、その背景を学習する。			
【キーワード】	「123 号通知」「高齢化」「リーマンショック」			
6. テーマ	生活保護制度④近年の改革			
【学習の目標】	現行の生活保護法のどこが問題かを理解すること。			
【学習の内容】	生活保護制度の改革と、その背景、改革の問題点について学習する。			
【キーワード】	「自立支援プログラム」「生活保護法改正」「生活困窮者自立支援法」			
7. テーマ	公的扶助と自立支援			
【学習の目標】	生活保護受給者にどのような支援が求められているかを理解すること。			

【学習の内容】	生活保護受給者への自立支援とその課題について学習する。
【キーワード】	「生活保護の在り方に関する専門委員会報告書」「中間的就労」
8. テーマ	最低生活保障のための手段
【学習の目標】	最低生活保障の制度として、現行の制度のほかに、どのようなものが考えられるかを考えること。
【学習の内容】	最低生活保障を行っていくために、どのような制度設計が求められるかを学習する。
【キーワード】	「一般扶助」「給付付き税額控除」「ベーシックインカム」「ベーシックサービス」
9. テーマ	低所得者支援の制度
【学習の目標】	社会保障制度の中で、低所得者に対するどのような制度や支援、補助があるかを理解する。
【学習の内容】	低所得者に対する様々な制度について、学習する。
【キーワード】	「低所得者」「住宅に関する支援」
10. テーマ	公的扶助制度の国際比較①イギリス・アメリカ
【学習の目標】	イギリス・アメリカの公的扶助制度について理解し、日本への示唆を得る。
【学習の内容】	イギリス・アメリカの公的扶助制度とその特徴について、学習する。
【キーワード】	「所得補助」「TANF」「ユニバーサルクレジット」
11. テーマ	公的扶助制度の国際比較②ドイツ・フランス
【学習の目標】	ドイツ・フランスの公的扶助制度について理解し、日本への示唆を得る。
【学習の内容】	ドイツ・フランスの公的扶助制度とその特徴について、学習する。
【キーワード】	「社会扶助」「ハルツIV法」「RSA」
12. テーマ	生活保護とソーシャルワーク
【学習の目標】	生活保護制度におけるソーシャルワークの位置づけと課題について理解する。
【学習の内容】	生活保護制度において、ソーシャルワークがどのように位置づけられ、機能しているかを学習する。
【キーワード】	「ケースワーカー」「指導指示」「相談助言」
13. テーマ	公的扶助と雇用との関連
【学習の目標】	就労可能層への生活保障の在り方について、考える。
【学習の内容】	失業者を支える各制度とその関係について学習する。
【キーワード】	「就労支援」「最低賃金」「雇用保険」「求職者支援制度」
14. テーマ	公的扶助と社会手当
【学習の目標】	公的扶助と社会手当はどのように異なるかを、考える。
【学習の内容】	公的扶助と社会手当の現状と、相違点について学習する。
【キーワード】	「資力調査」「児童手当」「児童扶養手当」
15. テーマ	まとめ：最低生活保障の制度の在り方について考える。
【学習の目標】	公的扶助制度の問題点を理解し、代替案について考える。
【学習の内容】	公的扶助制度の在り方について、議論する。
【学習の課題】	これまでの学習を踏まえて、あるべき公的扶助制度の姿について、まとめる。